

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	教養 I		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン&企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

ビジネスで使われる基本的な文書の知識を身につける

ビジネス文書検定 3 級取得の知識を身に付ける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ビジネス文書検定対策①	検定詳細説明／過去問題
2	ビジネス文書検定対策②	ビジネス漢字テスト
3	ビジネス文書検定対策③	表記技能（カナ→文章練習）／過去問題（解説）
4	ビジネス文書検定対策④	表記技能（慣用の手紙用語）／過去問題（解説）
5	ビジネス文書検定対策⑤	表記技能（書式レイアウト）／過去問題（解説）
6	ビジネス文書検定対策⑥	表現技能（正確で分かりやすい・礼儀正しい文章）／過去問題（解説）
7	ビジネス文書検定対策⑦	実務技能（社内文書）／過去問題（解説）
8	ビジネス文書検定対策⑧	実務技能（社外文書）／過去問題（解説）
9	ビジネス文書検定対策⑨	過去問題（解説）
10	ビジネス文書検定対策⑩	検定試験の解答・解説
11	自己分析①	「学生生活で頑張ったこと」「長所・短所」を考える／自分史シート作成
12	自己分析②	「自己PR」を完成させる／I amシート作成
13	自己分析③	グループ面接練習
14	企業連携	宮崎県花育講座
15		

☐ 到達目標

ビジネス文書 3 級取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題10% 出席状況・授業態度30%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		ビジネスコミュニケーション I		原田泰行		
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

・自分自身を理解し、将来像を考えることで、今、そしてこれから取り組むべきことを明確にする。
その内容に沿ったかたちで講義を進めて、対外コミュニケーションスキルを上げ、後期の業界EXPO、本格的な就職活動につなげる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	他己紹介	3人一組での他己紹介。他人への興味、自己の表現、そして伝えること。
2	都道府県理解	都道府県名当て＆ご当地名物名所。配達先や生産地などの土地のつながりの理解を深める。
3	フェアリット自己分析ビンゴ	自分を棚卸し、好きなものや、自分自身のことを書き出し、それをもとにビンゴを行い、同じ好みの人を見つけることでつながりを作る。その中で自分のことを深掘りし、他者から見た自分の印象も理解していく。
4	十人十色ゲーム	人の好みは様々であることの理解。他人への興味を持つ姿勢。
5	マシュマロチャレンジ	チーム力を持ってミッションを達成。振り返り検証をすることで向上できるか。
6	ギフト商品企画	グループの趣向をミックスした中で人物像を構成。その人に贈るフラワーギフトの企画。
7	伝言ゲーム	言葉を正確に伝えることの大切さと難しの理解を図る。
8	時事問題	グループで新聞記事をチョイス。時事問題への興味を持ち、向き合ってみる。資料を制作。
9	時事問題	制作した資料を持って発表。記事の概要と個人的感想などを伝える。
10	質問力	質問することを前提に話を聞き、グループで話し合って質問をすることで話の聞き方を学ぶ。
11	ブライダル企画	グループ内で人物を決め、その二人の結婚式をプロデュース。ゼクシィを参考資料にプレゼンボードを制作。
12	ブライダル企画発表	制作したボードを掲示し、コンセプトやこだわりなどを発表。
13	NASAゲーム	役割分担、コンセンサスを図ることの大切さを学ぶ。
14	企業分析	グループになり、フラワーの分野別企業の研究を行い発表。
15	期末試験	企業説明会（企業分析発表）・リフレクションレポート提出

☐ 到達目標

自己分析・自己表現・グループコミュニケーション力の育成。

☐ 成績評価の方法・基準

課題70% 出席状況・授業態度30%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	コンピュータ演習Ⅰ		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

ブラインドタッチ習得、レポート・資料作成に必要な能力を身に付ける

PowerPoint初級取得の知識を身に付ける

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	キーボード操作確認	ブラインドタッチ練習・文字入力基礎
2	PowerPoint基礎	ブラインドタッチ練習・出身地紹介制作（PowerPoint）
3	PowerPoint基礎	ブラインドタッチ練習・出身地紹介制作＆発表（PowerPoint）
4	PowerPoint基礎	ブラインドタッチ練習・出身地紹介発表（PowerPoint）
5	PowerPoint検定対策①	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題（解説）
6	PowerPoint検定対策②	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題（解説）
7	PowerPoint検定対策③	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題（解説）
8	PowerPoint検定対策④	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題
9	PowerPoint検定対策⑤	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題
10	PowerPoint検定対策⑥	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題
11	PowerPoint検定対策⑦	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題
12	PowerPoint検定対策⑧	ブラインドタッチ練習・PowerPoint模擬問題
13	PowerPointデザイン	見やすい分かりやすいプレゼン資料作成（レイアウト）
14	PowerPointデザイン	見やすい分かりやすいプレゼン資料作成（アニメーション）
15	期末考査	
16		

☐ 到達目標

PowerPoint 3 級レベル

☐ 成績評価の方法・基準

試験60％ 課題10％ 出席状況・授業態度30％

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワー業界セミナーⅠ		原田泰行		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

花を生業とする人にとって知っていて欲しい業界の環境や仕組み、商売としての考え方やルール、そしてフロリストに必要な知識としての技術的な基本的構成法の理解、商品制作コーディネートの方法、色彩・季節感の表現の考え方などの理解を深めることによって、業務における基礎知識・基礎スキルの習得を目標とする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	植物関わる仕事	花部関わる業界内の職種についての理解。
2	花の需要・季節行事	どのような場面で花は活用されるか、また年間を通しての花の需要について。仕事の年間イメージを知る。
3	花の流通・市場の仕事	花の流通と市場の仕事について
4	水揚げ・日々の管理について	出荷状況から店での水揚げ方法。日々の管理について。
5	商品構成の意図	商品が成り立つまでの過程を考え、その意図を理解。
6	ヨーロッパフラワーデザインの構成法	現代フラワーの技術的構成法の理解と商品への応用。
7	制作構成～特殊構成理論	素材を理解することによってのデザイン表現について。
8	色彩コーディネート	色合わせの基本と花への応用。
9	季節感演出の考え方	季節感の捉え方と表現方法。
10	コンセプトメイク	コンセプトの組み方、展開の方法。
11	園芸基礎	園芸素材の基本的知識を持ち、管理方法を学ぶ。
12	見学	ホテル椿山荘東京見学
13	ショップディスプレイ	VMDを軸にした店内ディスプレイ、商品陳列を理解。
14	期末考査	筆記試験
15	考査リフレクション	考査を踏まえた前期リフレクション

☐ 到達目標

業界の知識を多角的に習得。

☐ 成績評価の方法・基準

試験100% 課題00% 出席状況・授業態度00%

筆記試験にて評価

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	色彩学Ⅰ		竹内美知子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

多岐にわたるインテリアコーディネートの仕事の中で、様々な色彩計画やプレゼンボード作成など実務の中で取り組んできました。

☐ 授業科目の概要

テキストとプリントを用いた対面授業の講義形式で行う。

単元ごとに配色カードによる演習課題を実施することで、知識の確認をする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	色彩概論	*マンセルシステム * p c c s について
2	色の三属性	「色」の持っている性質について
3	色の表示方法	①マンセルの三属性他について
4		② p c c s の三属性他について
5		<演習> p c c s の色相環作成
6		③ p c c s トーンについて
7		イメージ語と色の関係 <演習> トーン図作成
8	混色	混色と色の見え方～三原色とは
9	光と色の関係	目の構造について 他
10	色の心理的効果	色により変化する感情効果の違い
11	色の知覚的効果	配色演習
12	色の対比効果	対比の種類 他
13	配色の基本	①色相配色～配色カードによる演習
14	〃	②トーン配色～配色カードによる演習
15	前期期末試験	

☐ 到達目標

色彩士検定3級の取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験 7 0 % 提出物 2 0 % 出席状況 10 %

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ホスピタリティⅠ			吉田訓代	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

日本航空客室乗務員での接客経験がある講師が、社会人として必要なビジネスマナー・接客マナーをロールプレイング形式で実施する。

☐ 授業科目の概要

・サービス接客検定2級合格

・マナーの重要性を理解し、相手の立場に立った言葉遣いや応対ができるように、ロールプレイングを中心に体得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	オリエンテーション	自己紹介・サービス接客検定対策
2	サービス接客検定対策	サービススタッフの資質
3	サービス接客検定対策	サービススタッフの資質
4	サービス接客検定対策	専門知識
5	サービス接客検定対策	対人技能
6	サービス接客検定対策	模擬問題
7	サービス接客検定対策	模擬問題
8	サービス接客検定対策答え合わせ	
9	コミュニケーション上手になるために	自分を知る 自分のコミュニケーションスタイルを確認する
10	好感度を高めるためのポイント	表情と笑顔 姿勢 服装や身だしなみ 態度や振る舞い
11	聴き方や話し方を見直す	傾聴のポイント 話し方や言葉遣いに配慮する 上手な気持ちの伝え方
12	食事の席での心得	食事の席で大切なこと 食具の種類と歴史 レストランでのマナー 箸使いについて
13	外出時の心得	公共の場での振る舞い 訪問先でのマナー あらたまった席での振る舞い
14	前期考査	
15	振り返り	

☐ 到達目標

サービス接客検定2級合格

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題30% 出席状況・授業態度20%

サービス接客検定2級合格者考査免除

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	華道Ⅰ			正木博		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			6	6×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

華道指導歴20年。自身のフラワースクールやワークショップの講師として生徒を指導。（資格授与可）

イベントでのデモンストレーションや地域振興の一環としても活動。

☐ 授業科目の概要

いけばなの様式の基本を学び「入門」「初伝」の資格取得を目指す

実習後は作品録提出

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	授業方針・いけばなとは	歴史・概要・道具の扱い方・盛花
2	盛花・自由花	盛花と自由花の違い
3	自由花	自由花について 自然的表現・非自然的表現
4	自由花	自由花
5	自由花	自然的表現・非自然的表現
6	自由花	自然的表現・非自然的表現
7	生花	生花について 生花正風体
8	生花	生花正風体
9	生花	生花正風体
10	生花	生花正風体
11	自由花	自由花
12	検定試験	検定試験
13	検定試験(予備日)	検定試験(予備日)
14	総まとめ	前期総まとめ
15	前期考査	前期考査

☐ 到達目標

華道家元池坊入門・初伝取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題10% 出席状況・授業態度40%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	チョークアート I			斉藤聡子・八木純子	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限=90分=1コマ 4時限=120分=2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（斉藤聡子）東京ホスピタリティアカデミー講師歴9年・チョークアーティスト協会講師

（八木純子）KANA ART STUDIOアシスタント歴5年（番組同行含む）チョークアーティスト協会講師

☐ 授業科目の概要

オーストラリア発祥のサインアート、チョークアートの基礎～応用技術の制作方法を実技で学ぶ。
植物やイベントモチーフのボードを中心に店舗PRなどにも使用出来る作品を制作する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	デザイン春基礎(1)	チョークアートの説明・画材配布・デモンストレーション
2	デザイン春基礎(1)	ラベンダーボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
3	デザイン春基礎(1)	ラベンダーボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
4	デザイン春基礎(2)	葉っぱボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
5	デザイン春基礎(2)	葉っぱボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
6	デザイン夏イベント	西瓜ボード・ボード塗りデザイン写し
7	デザイン夏イベント	西瓜ボード・色塗り
8	デザイン夏イベント	西瓜ボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
9	デザイン基礎(3)	ガーベラボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
10	デザイン基礎(3)	ガーベラボード・色塗り
11	デザイン基礎(3)	ガーベラボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
12	デザイン夏植物	プルメリアボード・ボード塗りデザイン写し
13	デザイン夏植物	プルメリアボード・色塗り
14	デザイン夏植物	プルメリアボード・修正・デコレーション・スプレー
15	前期テスト	実技テスト

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験30% 課題00% 出席状況・授業態度70%

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ヨーロッパアンフラワーアレンジメント			原田泰行	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

基本的なアレンジメントの構成理論の理解を行い、花の扱い方、素材配置のポイントなどの理解を図っていく。

その中で、それぞれの知識やスキルが様々な商品につながっていくことを学び、実務としての技術力の育成を行っていく。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ラウンドアレンジメント	実習におけるルールの共有。オアシスについて。ラウンドアレンジ制作における注意点。
2	スパイラル基礎	花束の基礎として、スパイラルテクニックで組むことと、形を整えることを習得。
3	リボンワーク・ワイヤリング	ループリボン、基本的なワイヤリング技術習得
4	造形アレンジメント	トライアングル制作による直線造形の基礎を行う。緩やかなラウンドを制作。
5	ワイヤリング基礎	ワイヤリング・テーピングの基本的方法を習得。花によって違うやり方を理解。
6	スパイラル/ラッピング/リボン	スパイラルブーケ2回目。花の配置を意識し、形を整えていく。ラッピング・ループリボンの習得。
7	ワイヤリング	ブトニア、ナイフフラワー制作。ブライダルアイテムとしての応用。
8	パラレル・交差アレンジメント	花の茎を活かした表現の習得。対称・非対称の差を理解。ギフトアレンジにも応用する。
9	自然植生アレンジメント	自然を感じる素材を活かしたアレンジメント。寒水砂利やコケの表現習得。
10	材質感アレンジメント	花の造形や質感を活かした表現を理解。皿の中に作るアレンジメント。
11	ホリゾンタル	流しテーブル装花としての基本造形。カスケードブーケにつながるスキルを身につける。
12	三方見花束	贈呈用の花束制作。三方見の作り方、ラッピング方法。
13	ギフトアレンジメント	ギフトとしてのアレンジメント。三方見制作で飾る場所を考えての造形表現。
14	試験前復習	前期総復習。試験対策実技確認を行う。
15	期末考査	花束・ラウンドアレンジ・ブトニア・ループリボンの時間内制作

☐ 到達目標

商品としての制作技術の習得。

フラワー装飾3級合格レベルのスキル習得。

☐ 成績評価の方法・基準

試験100% 課題00% 出席状況・授業態度00%

商品制作を意識した花束・アレンジメント・ラッピングの技術を点数化し、評価。

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワー研究Ⅰ		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		4	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

ブライダル、フローリストの基礎知識を身につける。ブライダルアイテムや切り花の基礎知識・コミュニケーション能力・提案力
市場状況をもとに、季節花の原価の動きを理解し、企画力・提案力を向上させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	自己紹介・授業説明・花材シート	授業の進め方、フローリストの全体的な作業の流れ（週間・年間）、原価説明、花材チェックシート
2	花材シート・本日の花	花材チェックシートの解説、花材紹介
3	ループリボン・テーピングの基本	ループリボンの作り方・フラワーテープの巻き方・練習
4	ブライダルプリント	タイムスケジュール、会場アイテムなど
5	ブライダルプリント	ブーケの形、サムシングフォーなど
6	ブライダルプリント	ドレスの形、ヘアスタイルなど、ブーケ参考資料、ブーケ企画書
7	ワイヤリング実習	ワイヤリング方法説明、練習、ループリボン
8	ブライダルプリント	挙式の種類、ブライズメイドなど、ヘア企画
9	花器発想企画	一つの花器からさまざまなデザインを発想して、グループで案をまとめて企画書を作成
10	南国花材・企画書	南国系（ネイティブフラワーも）花材説明、企画書
11	グループ企画	テイスト別装花企画書
12	グループ企画プレゼン	企画書仕上げ、グループごとにプレゼン
13	打合せシミュレーション	テスト前復習も兼ねて、婚礼打合せ練習
14	前期考査	フラワー知識の筆記テスト、企画書テストを行う。
15	ワイヤリング実習	ワイヤリング復習、ブトニア作製、テスト返却・復習

☐ 到達目標

フローリストに必要な基礎知識と発想力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%

試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	前期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス学科 専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	デッサン基礎		小松ゆかり		○	
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、東京芸術大学絵画科修士課程を修了し、立川美術学院にて美術講師3年間、アートスクール美術講師2年間、絵画教室主催5年間、ギャラリーMキュレーターとして8年間の勤務経験を通じ、現在は油絵個人レッスン、受験絵画の個人レッスンを行っており、実務者の観点から絵画実技の指導、講義を行う。

☐ 授業科目の概要

実技により課題作品提出による授業を行う。課題に沿って描画いただき、足りない技術を加筆し体得していただく。基礎的な描画表現を身に付ける為の方法を指導する。立体感や空間、質感等の描画意識を持ってもらう。自分の好みや強み、美意識の傾向を自覚させる。課題の意図をくみ取れるかどうかを判断する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	バンビのイラストを描く、鉛筆	道具の説明等。形の正しいとらえ方を指導、形を正確に再現できるかどうか。提出
2	立方体デッサン、鉛筆	立方体のデッサンをしてもらい、立体感の基礎的な力を計ります。影の付け方、光の意識を説明。提出
3	透視図法（室内風景） 鉛筆、色鉛筆	透視図法の説明。空間の把握、奥行きを描き方。提出
4	半球を描く、鉛筆、定規	だまし絵的に、立体に見えるような描き方を指導。提出
5	グラスデッサン、鉛筆	グラスのデッサン、人工物の正しい形、反射や立体感、左右対称にきちんと描く事。提出
6	一点透視図法、室内空間、 鉛筆、定規	パースの描き方、線描き方、奥行きができるように説明する。1点透視図法の説明。
7		調子を付ける、光の方向での影の付け方説明。
8		細部を描き自然な空間表現に見えるかを判断し完成。提出
9	ぬりえ、線のトレース、 色鉛筆	トレースする、色鉛筆使い方、混色方法の説明、自由な色彩表現
10		再現力を強化、色感覚を鍛える。提出
11	自画像、手のデッサン、 鉛筆、ペン	立体感、量感の指導。基礎的なデッサンの描き方を指導する。
12		手の質感や空間感を説明。自然な手に見えるように。提出
13	ハッチング画、 鉛筆、ペン	ハッチングによって立体感を出す、陰影の説明、ハッチング技法の説明
14		量感が出ているか、空間を感じるかチェックし完成。提出
15	前期考査、風景を描く、 色鉛筆	風景図版に彩色、陰影をハッチングやグラデーションをつけて立体感、空間、情景を独自の世界観を持って表現しなさい。提出
16		

☐ 到達目標

課題の内容を理解し基礎的な描画技術を習得すること。
独自の感性や美意識を意識させ、それを通じて他者へ自身のイメージを的確に伝えられる為の基礎デッサン力を習得いただく。

☐ 成績評価の方法・基準

試験40% 課題40% 出席状況・授業態度20%
提出課題、試験の平均点から概ね評価するが、授業態度も加味し、成績評価とする。当日の無断欠席は評価外とする。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	教養Ⅱ		草刈利枝子		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

ビジネスに必要なスキル＆社会人（成人）に必要なスキルを知識を身につける

ビジネスマナー検定3級取得の知識を身に付ける

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ビジネスマナー検定対策①	検定詳細説明／過去問題・解説
2	ビジネスマナー検定対策②	役職・組織（部署）／過去問題テスト
3	ビジネスマナー検定対策③	結婚式・葬式のマナー・長寿について／過去問題テスト
4	ビジネスマナー検定対策④	社会貢献・福利厚生とは／過去問題テスト
5	ビジネスマナー検定対策⑤	郵便物の種類・宛名の書き方など／過去問題テスト
6	ビジネスマナー検定対策⑥	上座・下座、会議・パーティーでのマナー／過去問題テスト
7	ビジネスマナー検定対策⑦	テストに出題されるPC用語や事務用品／過去問題テスト
8	検定試験の振り返り＋グループワーク	検定試験の解答・解説／日本全国の観光地・グルメなどグループごとに調査
9	グループワーク	日本全国の観光地・グルメなどグループごとに調査・発表
10	年末年始のマナー	年末年始の常識／おせち料理の由来など
11	ビジネスコミュニケーション①	自己分析について
12	ビジネスコミュニケーション②	グループワーク（面接練習）
13	ビジネスコミュニケーション③	メール・お礼状の書き方
14	企業連携	宮崎県花育講座
15		

☐ 到達目標

ビジネスマナー検定3級取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験60% 課題10% 出席状況・授業態度30%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1 年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	ビジネスコミュニケーションⅡ			CSC		
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	実験・実習・実技			1	2×15	週1コマ＝2時限×15週 週2コマ＝4時限×15週

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

☐ 授業科目の概要

1 年前期「ビジネスコミュニケーションⅠ」の流れを引き継ぎ、業界EXPOの準備を通して就職活動に必要な知識を身につけていきます。

業界EXPO後はリフレクションを通して個人の課題を見つけ、最終的には就職活動を一人でも行える能力を身に付けます。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	意識づけ（就職活動、業界EXPO）	就職活動（社会保険、キャリア形成、準備）、業界EXPO（5つの人間力など）、就職活動スケジュール確認など
2	就職活動のスーツやメイクと就職活動の軸	就職活動を行うためのスーツやメイクについてレクチャーする。後半は学生個人の就職活動の軸について考える
3	書類作成①	志望動機と自己PRの作成手順の説明し、実際に作成してみる
4	書類作成②	前回作成した自己PR（履歴書自己PR欄＝業界EXPO参加票）を添削し、参加票に清書書きを行う
5	業界EXPO準備①	スーツ登校させ事前チェックを行う、参加票の清書書きを行う、企業研究シート作成の説明を行う
6	業界EXPO準備②	企業研究シートの作成、業界EXPOでの質問時のマナーを説明し質問を考える、業界EXPO当日の注意事項などを学生パンフを使い確認していく
7	業界EXPO振り返り	業界EXPOの振り返り（リフレクション）を行い、後半は就職活動マナー（メール、電話、封筒、送り状、お礼状、企業説明会参加のマナーなど）を学ぶ
8	書類作成③	志望動機と自己PR以外の履歴書の書き方をレクチャーする
9	就職活動対策①	エントリーシートの書き方と活動の流れをしっかりと理解する※ベトナム愛玩は研修注意事項と電話のかけ方
10	就職活動対策②	面接対策①（基本5項目の書き方の説明と作成）
11	就職活動対策③	面接対策②（実践：面接官と受験者を実際に体験してみる）
12	就職活動対策④	グループディスカッション（GD）対策、求人票の見方、今後の就職活動スケジュールの確認など
13	スタログ説明	今年度から導入した就職活動アプリ「スタログ」の使用説明を行う※業者作成の動画
14	期末考查の準備	就職試験でよく聞かれる5項目について考え完成させる
15	期末考查	就職試験基本5項目をそれぞれ指定の字数で書く
16		

☐ 到達目標

就職活動への意識を高め、活動のノウハウを身に付ける。

☐ 成績評価の方法・基準

日頃の授業態度と考查の結果を総合的に評価する。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード		授業科目名		担当講師名		実務経験
		コンピュータ演習Ⅱ		草刈利枝子		○
授業の種類		授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考
基本授業		講義・演習		2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

前職はPC周辺機器メーカーの広報に所属（約15年）し、WEB・紙媒体のデザイン＆企画・運営を担当。

その他、パソコンスクールにてデザイン系のインストラクターのアルバイト経験あり（約10年）。

☐ 授業科目の概要

ブラインドタッチ習得、レポート・資料作成に必要な能力を身に付ける

Excel 3 級・Word3級習得知識を身に付ける

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	Excel基礎①	Excel基本操作①（ホーム操作・基本操作）
2	Excel基礎②	Excel基本操作②（関数基礎・数式）
3	Excel検定対策①	Excel模擬問題（解説）
4	Excel検定対策②	Excel模擬問題（解説）
5	Excel検定対策③	Excel過去問題
6	Excel検定対策④	Excel過去問題
7	Excel検定対策⑤	Excel過去問題
8	Word基礎①	Word基本操作①（ホーム操作・文書作成・文字装飾）
9	Word基礎②	Word基本操作②（表作成・画像挿入）
10	Word検定対策①	Word模擬問題（解説）
11	Word検定対策②	Word模擬問題（解説）
12	Word検定対策③	Word過去問題
13	Word検定対策④	Word過去問題
14	Word検定対策⑤	Word過去問題
15	期末考査	
16		

☐ 到達目標

Excel 3 級・Word 3 級レベル

☐ 成績評価の方法・基準

試験60％ 課題20％ 出席状況・授業態度20％

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	フラワー業界セミナーⅡ			原田泰行	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

花を生業とする人にとって知っていて欲しい業界の環境や仕組み、商売としての考え方やルール、そしてフロリストに必要な知識としての技術的な基本的構成法の理解、商品制作コーディネートの方法、色彩・季節感の表現の考え方などの理解を深めることによって、業務における基礎知識・基礎スキルの習得を目標とする。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	前期考査振り返り	前期考査の内容を振り返り、理解を深める
2	ホテル等での仕事（利益構造）	ホテル部門別の売り上げ。利益構造について
3	空間装飾系の仕事について	ブライダル・葬儀のフラワーアイテム
4	空間装飾系の仕事について	一般宴会・定期装花について
5	大田市場見学	大田市場見学
6	ブライダル商品	ブライダルに関わるフラワーアイテム
7	販売接客業としての花屋	フラワーショップでの仕事
8	店頭接客受注について	花のお届け業務での注意点
9	ブライダルフラワーのルーティン	ブライダル業務のルーティンワークについて、一週間の流れなどを理解
10	受注業務（葬儀・フューネラル）	フューネラルの意義、運営、打ち合わせについて
11	受注業務（ブライダル）	ブライダル装花の受注業務について
12	ブライダル受注模擬	受注実践。受注票の記載
13	鉢植え知識	贈答品としての鉢物の知識
14	コミュニケーション技能	接客業としてのコミュニケーション。プレゼン方法。
15	期末試験	筆記試験

☐ 到達目標

業界の知識を多角的に習得。

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題00% 出席状況・授業態度00%

筆記試験にて評価

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	色彩学Ⅱ			竹内美知子	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

多岐に渡るインテリアコーディネートの仕事の中で、様々な色彩計画やプレゼンボード作成など実務の中で取り組んで来ました。

☐ 授業科目の概要

「色彩士検定3級」取得に向け色彩学の基礎を学ぶとともに、検定対策を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	ナチュラルハーモニー配色	色相の自然連鎖による配色形態
2	コンプレックスハーモニー配色	〃
3	ドミナント、トライアド 他	伝統的、習慣的に用いられる配色形態
4	「色彩士3級」対策	基礎プリントNo.1
5	〃	〃 No.②
6	〃	〃 No.3
7	過去問対策①	理論問題 ①
8	〃	〃 ②
9	過去問対策②	演習問題 ①
10	〃	〃 ②
11	色彩検定直前まとめ	総まとめ
12	配色演習まとめ	配色カード演習①
13	〃	〃 ②
14	小テスト	
15	後期期末試験	

☐ 到達目標

色彩士3級検定取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験 7 0 % 提出物 2 0 % 出席状況10%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	ホスピタリティⅡ			吉田訓代	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

日本航空客室乗務員での接客経験がある講師が、社会人として必要なビジネスマナー・接客マナーをロールプレイング形式で実施する。

☐ 授業科目の概要

・サービス接客検定準1級合格

・マナーの重要性を理解し、相手の立場に立った言葉遣いや応対ができるように、ロールプレイングを中心に体得する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	社会人として知っておくべきこと	日本や日本人について考えてみる 日本社会の特徴 多様性を受け入れる
2	社会人必須のマナー	ビジネスマナーの基本 ビジネス文書の書き方 電話応対 名刺交換 席次のルール
3	祝儀・不祝儀袋の贈り方	祝儀袋・不祝儀袋の用途 水引の種類 表書きの書き方 紙幣の入れ方
4	国際交流とプロトコール	国旗について 異文化コミュニケーションの注意点 世界の宗教
5	人生のイベント季節のイベント	誕生 お七夜 お宮参り お食い初め 七五三 厄年 長寿のお祝い お正月 節分 ひな祭り お花見などの年中行事について
6	サービス接客検定対策	サービス接客検定準1級対策
7	サービス接客検定対策	サービス接客検定準1級対策
8	サービス接客検定対策	サービス接客検定準1級対策
9	電話応対	電話の基本対応
10	年末年始マナー	
11	社会人としてのマナー	仕事の取り組姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
12	社会人としてのマナー	仕事の取り組姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
13	社会人としてのマナー	仕事の取り組姿勢 仕事の進め方 報告・連絡・相談のポイント
14	後期考査	
15	振り返り	

☐ 到達目標

サービス接客検定準1級合格

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題30% 出席状況・授業態度20%

サービス接客検定準1級合格者考査免除

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名		実務経験
	華道Ⅱ			正木博		○
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			6	6×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

華道指導歴20年。自身のフリースクールやワークショップの講師として生徒を指導。（資格授与可）

イベントでのデモンストレーションや地域振興の一環としても活動。

☐ 授業科目の概要

前期で学んだことを元に基礎力の向上を目指す 華道家元池坊 中伝・皆伝取得を目指す

実習後は作品録提出

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	後期授業について	後期授業について
2	自由花	前期復習
3	自由花	加工素材について
4	生花	生花正風体
5	自由花	変形花器について
6	自由花	変形花器
7	自由花	異質素材について
8	生花	生花正風体 特殊な形 生花七種伝 日本水仙
9	生花	生花正風体 特殊な形 生花七種伝 日本水仙
10	生花	生花正風体 特殊な形 生花七種伝 日本水仙
11	生花	生花正風体 特殊な形 生花七種伝 日本水仙 万年青
12	自由花	変形花器
13	自由花	変形花器
14	総まとめ	総まとめ
15	後期考査	後期考査

☐ 到達目標

華道家元池坊 中伝・皆伝取得

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題10% 出席状況・授業態度40%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名			担当講師名	実務経験	
	チョークアートⅡ			斉藤聡子・八木純子	○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕			単位数	時限×回数	備考
基本授業	講義・演習			2	2×15	2時限=90分=1コマ 4時限=120分=2コマ

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

（斉藤聡子）東京ホスピタリティアカデミー講師歴9年・チョークアーティスト協会講師

（八木純子）KANA ART STUDIOアシスタント歴5年（番組同行含む）チョークアーティスト協会講師

☐ 授業科目の概要

オーストラリア発祥のサインアート、チョークアートの基礎～応用技術の制作方法を実技で学ぶ。
植物やイベントモチーフのボードを中心に店舗PRなどにも使用出来る作品を制作する。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	デザイン秋イベント	ハロウィンボード・ボード塗りデザイン写し
2	デザイン秋イベント	ハロウィンボード・色塗り
3	デザイン秋イベント	ハロウィンボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
4	デザイン秋植物	銀杏どんぐりボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
5	デザイン秋植物	銀杏どんぐりボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
6	デザイン冬イベント	スノーマンボード・ボード塗りデザイン写し
7	デザイン冬イベント	スノーマンボード・色塗り
8	デザイン冬イベント	スノーマン・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
9	デザイン冬植物	椿ボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
10	デザイン冬植物	椿ボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
11	デザイン春イベント	バレンタインボード・ボード塗りデザイン写し・色塗り
12	デザイン春イベント	バレンタインボード・修正・デコレーション・スプレー・次回準備
13	デザイン春植物	チューリップボード・ボード塗りデザイン写し
14	デザイン春植物	チューリップボード・色塗り
15	デザイン春植物	チューリップボード・修正・デコレーション・スプレー

☐ 到達目標

☐ 成績評価の方法・基準

試験00% 課題30% 出席状況・授業態度70%

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワーアイテム制作実習		原田泰行		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		2	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

講師はフラワー業界のリーディングカンパニー等で15年以上商品制作・会場装飾・管理業務に携わってきた実績を保有し、実務経験者として講義を行う。

☐ 授業科目の概要

基本的なアレンジメントの構成理論の理解を行い、花の扱い方、素材配置のポイントなどの理解を図っていく。

その中で、それぞれの知識やスキルが様々な商品につながっていくことを学び、実務としての技術力の育成を行っていく。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	秋のアレンジメント	季節の花を使ったアレンジメント
2	ラウンドブーケ	ブーケの基本的な商品の制作
3	菊花祭壇基礎	菊花祭壇並列・交差
4	秋の花による花束	季節の花を扱った花束と、ラッピング
5	壺花生け込み	壺への生け込み方法について
6	婚礼メイン装花	メインテーブル装花基本的制作
7	カスケードブーケ	ブーケの応用としてカスケードを制作
8	花束応用	ラウンド・三方見、内容を考えて作る
9	花冠	ヘアードの基本と花冠（ミニバラのパターン）
10	スタンド花	お祝い用スタンド花の基本
11	ブリザーブドアレンジメント	色合いを自身で考えながらブリザーブドギフトアレンジメントの制作
12	春の花材・花束、アレンジメント	季節特有の素材を使った商品制作
13	商品制作	自身で花材レシピを考え、アレンジメント花束の制作
14	期末考査	共通素材で金額計算した上でアレンジ&花束
15	商品制作的素材選び	予算等を含めた素材選びからの商品制作

☐ 到達目標

商品としての制作技術の習得。

フラワー装飾3級合格レベルのスキル習得。

☐ 成績評価の方法・基準

試験100% 課題00% 出席状況・授業態度00%

商品制作を意識した花束・アレンジメント・ラッピングの技術を点数化し、評価。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	フラワー研究Ⅱ		中山 わかな		○	
授業の種類	授業の方法〔講義・演習／実験・実習・実技〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	講義・演習		4	4×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

2026年度生から：【単位数】「講義・演習」は1コマの授業で2単位／「実験・実習・実技」は1コマの授業で1単位

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

株式会社ランドフローラ（ハイアットリージェンシー装花室）に3年程勤務、その後花屋福太郎にてウェディング装花やイベント装飾、仕入等を学び、2010年10月にダブルニットクローバーを設立。ウェディングを中心に装花・仕入等の経験を活かした実習を行う。

☐ 授業科目の概要

ブライダル、フローリストの基礎知識を身につける。ブライダルアイテムや切り花の基礎知識・コミュニケーション能力・提案力
市場状況をもとに、季節花の原価の動きを理解し、企画力・提案力を向上させる。

☐ 授業の計画

週	項目	授業概要
1	後期説明・商品企画書	原価計算の説明、金額に合わせて花材を選び企画書を作成する。
2	ペア企画	ペアで質問をしあい、相手が喜びそうなフラワーギフトを考える。
3	呼吸と光合成・ランについて	植物の基礎知識を学び、切り花の扱い方の意識を高める。ランの種類、特徴を学ぶ。
4	エチレンについて・ハロウィンについて	切り花とエチレンの関係性を学ぶ。フローリストとして必要なハロウィンの基礎知識、アイテム等を学び、企画書作成。
5	流通段階での鮮度保持・バラ・リリア・ガーベラについて	生産者から市場、生花店での切り花の鮮度保持について学び、実際に扱う際に意識する。バラ等のそれぞれの咲き方、特徴のまとめ。
6	切り花トラブルについて・婚礼企画書	切り花に起こるトラブルを紹介、対処方法を学ぶ。お題に合わせて婚礼装花を企画する。
7	打合せシミュレーション	婚礼の打合せの流れを再現。新婦役のイメージをくみ取り、デザインシートを作成。
8	クリスマスについて・企画書	フローリストとして必要なクリスマスの基礎知識、アイテム等を学ぶ。基礎知識を学んだうえで、クリスマス商品を企画する。
9	春花材について・企画書	春に多く出回る花材の種類、特徴を学ぶ。春の花の商品を企画する。
10	お正月について・企画書	フローリストとして必要なお正月の基礎知識、アイテム等を学ぶ。基礎知識を学んだうえで、お正月商品を企画する。
11	小テスト・復習	1年次の内容が頭に入っているか確認、復習をして理解を深める。
12	フラワー装飾技能士について	詳細説明。内容や作業イメージを理解できるようにする。過去問スタート。
13	技能士3級ブトニア実習	3級課題のブトニアの流れを理解し、実際に作製。
14	後期考査	フラワー知識の筆記テスト、企画書テストを行う。
15	後期考査返却	テスト内容全体の復習。一年間の季節行事も復習する。

☐ 到達目標

フローリストに必要な基礎知識と発想力を身につける。

☐ 成績評価の方法・基準

試験50% 課題25% 出席状況・授業態度25%

試験・課題・出席状況・授業態度を総合的に評価する。

2026年度	後期	フラワービジネス学科	1年	フラワービジネス専攻		
授業コード	授業科目名		担当講師名		実務経験	
	デザイン応用		小松ゆかり		○	
授業の種類	授業の方法〔講義／演習／実験・実習実技／その他（概要記載）〕		単位数	時限×回数	備考	
基本授業	実験・実習・実技		1	2×15	2時限＝90分＝1コマ 4時限＝120分＝2コマ	

☐ 実務経験のある教員による授業であることを示す記述（上記講師名欄の右に「○」）

担当講師は、東京芸術大学絵画科修士課程を修了し、立川美術学院にて美術講師3年間、アートスクール美術講師2年間、絵画教室主催5年間、ギャラリーMキュレーターとして8年間の勤務経験を通じ、現在は油絵個人レッスン、受験絵画の個人レッスンを行っており、実務者の観点から絵画実技の指導、講義を行う。

☐ 授業科目の概要

実技により課題作品提出による授業を行う。課題に沿って描画いただき、足りない技術を加筆し体得していただく。描き方や感じ方の説明、実演を通じてお手本にしていただき。量感や質感、空間感をだし、自分の美意識を強化していただき提出作品に取り入れてもらう。基礎的な技術を体得した上での構合力や演出力などを描けるように指導を行う。

☐ 授業の計画

週	項目	授業内容
1	リンゴ、ナシの絵を元に描く、	影の付け方による立体感の出し方。色鉛筆の混色方法の指導。資料配布。
2	色鉛筆	自然に見えているかを確認し完成させて提出
3	花束	色鉛筆の混色、花の描写指導。白描法によるトレース後色鉛筆での彩色をする。
4	色鉛筆	自然で美しく花束が描かれているか指導し、完成させて提出いただく
5	点描画（3種類から選ぶ）	点描説明、点での濃淡の出し方で描く、資料配布。
6	ペン	陰影法が理解されているか確認して完成し提出していただく
7	だまし絵、円柱鉛筆	立体感や、どう見えているかを考えてもらう。光、量感を意識させる。完成提出
8	Bookデザイン画、本、だまし絵、水彩	水彩道具説明、レタリングや装飾画を指導。だまし絵的に本のように見せる描画ができるかどうか。スパッタリングなど技法も指導する。
9		自分なりの世界観が表現されているか、本の厚みなど自然に描けているか。
10		リアルに本がそこにある様に見えるようにして完成、提出
11	イメージ画を作る	線画の図版を元に好きなイメージを表現していただく。設定のユニークさやリアリティをチェックする。
12	色鉛筆	独自の設定を自然に表現しているか、演出効果などの確に描画しているか確認し、完成させて提出
13	テーブルセッティング案（3種類から選ぶ）	出だしの線画の描き方を強調して指導する。テーブルセッティング案の描き方説明、資料をそのまま描いてもOK、イメージが伝わりやすく描く方法を指導
14	色鉛筆、水彩、鉛筆、ペン	自然な配置が再現されているか、コンセプトが伝わっているか、完成し提出
15	フラワーベースを描く 後期考査	写真を見て描く、光をかんじさせ自然に見える描画を指導。 完成し提出、テストとします。
16		

☐ 到達目標

課題の内容を理解し描画技術を高める事。
個性や独自の感性、美意識への気づきを促し、クリエイティブなイメージを洗練させていく事を旨とする。課題の意図を自分なりに汲み取り、自分なりの表現や意図を出せるようになる事。

☐ 成績評価の方法・基準

試験40% 課題40% 出席状況・授業態度20%
提出課題、試験の平均点から概ね評価するが、授業態度も加味し成績評価とする。試験当日の無断欠席は評価外とする。